

国際常民文化研究機構／プロジェクト型共同研究（奨励）

河原田盛美における本草学的知識から 近代勧業的実践の転換に関する研究

2年間の調査活動を終えて

研究代表者 高江洲 昌哉

河原田調査班の最終年度になる2015年度は、遠方調査では4回の南会津調査（5月、8月、10月、3月）、鳥取調査・研究会（9月）、兵庫県の調査（9月）、京都・大阪調査（2月）を実施した。その他都内の資料館（渋沢史料館、国文学研究資料館）での調査もおこなった。南会津の旧河原田家調査では、5月に南会津町町長への表敬訪問が実現し、プロジェクトの概要を説明する機会を得た。河原田文庫の「蔵書目録」を撮影し、河原田の知的基盤を確認する基礎資料を入手することができた。また、増田氏のテーマである「過疎地の殖産興業」を調べるため、河原田と縁のある実地調査（駒止峠、只見の鉱山跡など）や、関係する旧家の資料調査などを実施した。河原田は日本全国各地

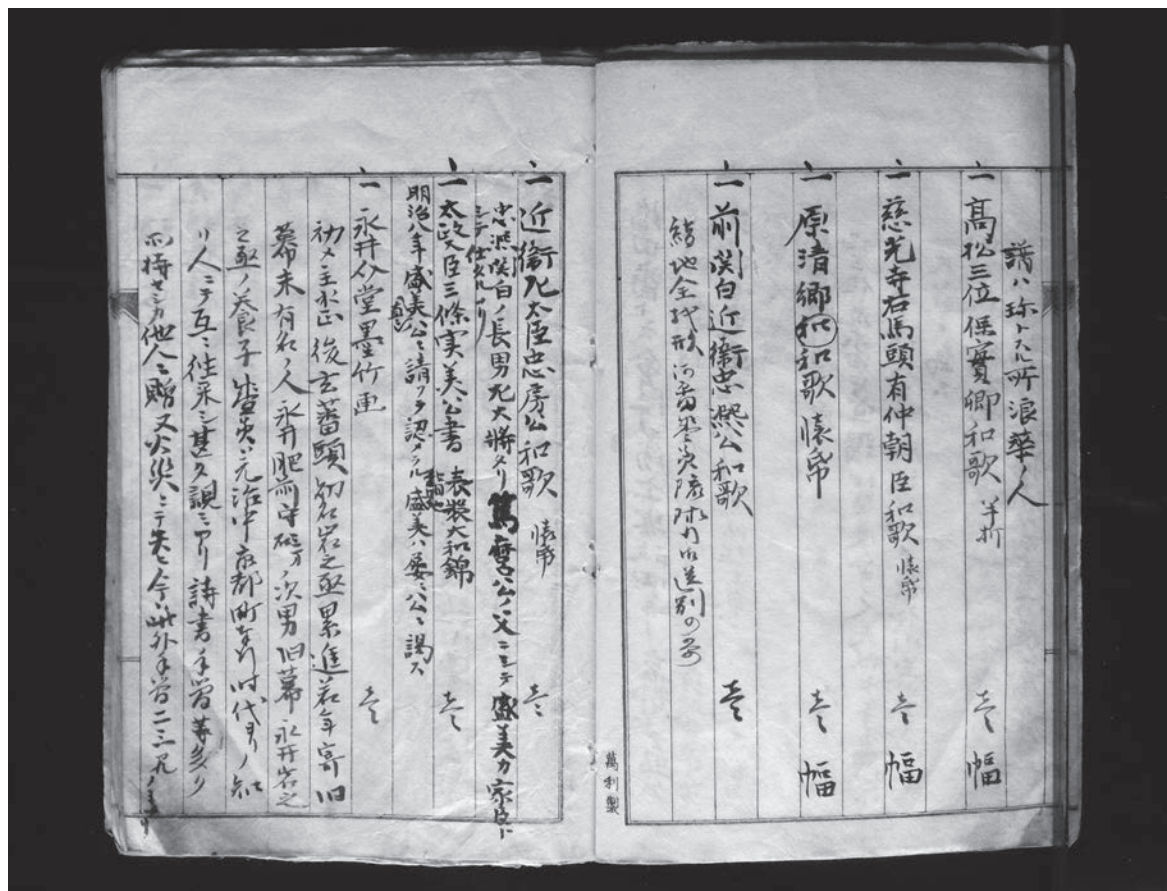


写真1 河原田家所蔵資料より

